



学校目標 三心自立 「学ぶ心」「思いやる心」「鍛える心」を磨き自立する



【目指す学校像】 21世紀型能力を育む「学び合う学校」

- | | | | |
|-------------|----------------------|---------|-------|
| 育みたい21世紀型能力 | ◆ 知識や情報を活用する能力 | 【学ぶ心】 | （重点1） |
| | ◆ 多くの人とよりよい人間関係を築く能力 | 【思いやる心】 | （重点2） |
| | ◆ 自立的に行動する能力 | 【鍛える心】 | （重点3） |

重点3 「鍛える心」を磨く

- ◆**地域と関わりながら学び、自分を律することのできる生徒を育成します。**
- 3回の**職場見学、職場体験**によるキャリア教育を充実させ、将来への夢をもたせます。
- 三心清掃、授業の五原則等**を通して、規律ある学校生活を送らせます。
- 縦割学年の活動**を充実させ、ガイダンス機能を発揮させながら規律ある学校生活をつくります。
- 合唱を通して、**明るい歌声が響く学校**にします。
- 食育を通して、自分の健康管理のできる生徒を育成します。
- ◆**達成目標：学校生活に満足している生徒（学校評価 90%）**

重点1 「学ぶ心」を磨く

- ◆**東中学校の学びを「インプット型」から「アウトプット型」に転換します。**
- ICTを活用した**協同的な学び**による生徒主体の授業を実現し、思考力・判断力・表現力等の伸長を図ります。
- 「**補習の日**」の設定や**IT指導の充実**を通して、基礎的基本的内容の確実な定着を図ります。
- 自主学习**の充実、**外部テスト**の導入、**テストサイクル**の確立を通して、**進路実現を目指した学習**に取り組ませます。
- 総合的な学習の時間の**探求学習**を充実させ、長いスパンでの**問題解決的能力の育成**を図ります。
- ◆**達成目標：授業が概ね分かる生徒（全国学調、学校評価 90%）**

重点2 「思いやる心」を磨く

- ◆**挨拶を大切に、よりよい人間関係を築く能力を育みます。**
- 挨拶、日々の当番活動を通して、安心して生活でき、お互いの持ち味を発揮し合える学級をつくります。
- 東中学校生徒会人権宣言**を通して、互いの**存在を認め合う心情**を高めます。
- あいサポート運動**を通して福祉学習を進め、**共生社会**の担い手となる生徒の育成を進めます。
- ボランティア活動・奉仕活動**へ積極的に参加し、地域貢献活動を充実させます。（コスモス街道作業、須坂荘訪問等）
- 生徒相談**を充実させ、生徒の悩みに丁寧に向き合います。
- ◆**達成目標：学校へ来るのが楽しいと感じる生徒（学校評価 90%）**

信州型コミュニティスクール（学校運営委員会、学習支援ボランティア）

- 年4回の**学校運営委員会**や**学校評価**を通して、保護者、地域の声を聞いた学校運営を行います。
- 数学、英語、「**斜面**」書き写し、読み聞かせ、職場体験等、**学習支援ボランティア**による生徒支援の充実を努めます。
- 学校だより、HP等を通して情報を発信し、**社会に開かれた教育課程**の実現に努めます。

教職員研修

研修テーマ「ICTを活用した協同的な学びを通して、思考力・判断力、表現力を育成する」

- 中心講師を招聘し、協同的な学びやICT活用に関する研修を深め、**授業力を向上**させます。
- 生徒指導・生徒理解、発達障がい等の研修を計画的に実施し、**個に応じた指導**を充実させます。

生徒の願い

- 学習に集中して取り組み、成績を伸ばしたい。
- 互いに思いやり、良好な人間関係を築きたい。
- 様々な活動を通して、楽しい学校生活を送りたい。

平成30年度 生徒会スローガン
躍動～学年をこえて全進する東中～
時間 三心清掃 健康 歌声 福祉

保護者地域の願い

- 自分から学習に向かう生徒にしてほしい
- 開かれた学校づくりを進め情報提供を積極的に行ってほしい
- 将来、地域を担う人材を育成してほしい

21世紀型能力を育む「学び合う学校」づくり

新学習指導要領では、生徒の資質・能力の育成が重視されています。その大きな要因は、社会の変化です。一つは、知識基盤社会の本格化であり、「何を知っているか」だけでなく、それに基づいて「何ができるのか」という実生活や実社会において知識や技能を活用して問題を解決できることの重要性が増してきているからです。二つは、情報化社会の高度化です。知識を正確に覚えておくことだけでなく、既存知識に基づいて重要な情報を選別し、集めた情報や知識を編集して新たな考えを作り出す力が求められているからです。三つは、グローバル化です。国境を越えて人、物、情報等が行き来する中、様々な正解のない問題について、他者との対話や協働を通して、市民一人一人やコミュニティーが合理的、批判的に判断し、最適解や納得解を導き出して行くことが求められているからです。

このような時代背景の中、21世紀型の資質・能力である「知識や情報を活用する能力」「多くの人とよりよい人間関係を築く能力」「自立的に行動する能力」を育む学校づくりを目的として、以下の3点を経営方針として学校経営を進めます。

経営方針1：学校づくりの根幹を「授業づくり」に置く学校（学校の役割と責任の明確化）

学校は学びの場であり、生徒の夢と希望を育む場でもあります。生徒は、一日の大半を授業で過ごし、一時間の各教科ならびに領域等の中で、多くのことを学び成長しています。授業の充実、魅力ある授業の創造は、教師の使命です。そのために、教員は日々研鑽を積まなければなりません。本校では、知・徳・体をバランスよく育む生徒の育ちを、「三心自立」として学校目標に位置付けています。それは、生徒と教師が質の高い授業を共に創る中で達成されるものであり、いわば「学校力」と言えるものです。これは教師の創意によるカリキュラムや1時間の授業展開を通して達成されるものであることから、学校づくりの根幹は授業づくりにあると言えます。

経営方針2：生徒を取り巻く問題を、授業で解決する学校（学習指導と生徒指導の一体化）

現在、生徒は様々な問題と直面しています。それらの問題は、人間関係、ケイタイ・スマホ、生活習慣等、多岐にわたります。これらの生徒を取り巻く問題は、学習指導と生徒指導を一体としてとらえる授業で解決しなければなりません。そのために、「協同的な学び」を中心に据えた教育課程を編成し、質の高い学びが展開される授業への転換を図ることが必要です。協同的な学びの中では、「聴く・問う」から始まる対話活動を中心に、「自己存在感を与える」「共感的な人間形成を育成する」「自己決定の場を与える」という生徒指導の3つの機能が働いています。生徒は、友や教員との協同的な学びを通して、学びに夢中になったり、次なる課題への追究意欲を高めたり、仲間や地域の方々と共に学ぶことの面白さに気づいたりしていくことと思います。

経営方針3：シンプルでスリムな教育を行う学校（業務の精選と重点化、能率化）

上記の経営方針1・2を実現し、生徒にとって学びやすい授業や学習環境、教員が安心して授業づくりに専念できる環境を実現させるために努力します。そのために、信州型コミュニティスクールによる学校支援や、保護者、地域等との協力を積極的に進め、シンプル（わかりやすく）でスリム（無駄のない）な教育内容を整備します。また、保護者、地域に対して積極的に情報を開示することにより学校を開き、保護者や生徒の学習に参加して下さる地域の方々の学びの場ともなるように須城市教育委員会等関係機関とも連携し、学校に地域の中核としての機能をもたせます。

さらに、教員が働きやすい環境を整備するために、「働き方改革」を進めます。従来までの、当たり前であった事柄を見直すとともに、能率的、効率的に業務が推進できる年間計画、日課、組織になるよう努めます。



本校の最大の課題は「学力向上」です。学力が定着していないがために、物事を深く考えたり判断したりすることができず、生徒指導上の問題が多発していました。同時に、学習習慣が身についておらず、学習面での成功体験が少ないことから、**学習に向かう力の弱さ**、**自己肯定感の低さ**も課題として浮かび上がってきていました。そこで平成28年度から、生徒が学びに向かう力を培いながら21世紀型能力を身に付けるために、学校全体を「**学び合う学校**」に転換を図ってきました。本年度は3年目であり、**試みの最終年度**です。

21世紀型能力を育む「学び合う学校」

【学校経営ビジョン】

- 経営方針1：学校づくりの根幹を「授業づくり」に置く学校
- 経営方針2：生徒を取り巻く課題を、授業で解決する学校
- 経営方針3：シンプルでスリムな教育を行う学校

【育みたい21世紀型能力】

- ◆ 知識や情報を活用する能力
- ◆ 多くの人とよりよい人間関係を築く能力
- ◆ 自立的に行動する能力

東中学校の学びを「インプット型」から「アウトプット型」に転換する

【思考力・判断力・表現力の育成】

- 協同的な学びを通じた思考力・判断力・表現力の育成（教師主導型の授業からの脱皮と教材研究の充実）
- ICT（デジタル教科書等）を活用した教育の情報化の推進
- 単元の終末での、レポート、ポスターセッション等の発信型授業によるプレゼンテーション能力の育成

【探求型学習の充実による問題解決的能力の育成】

- 職場見学（1年）、職場体験（2年）、進路学習（3年）のキャリア教育における「自らの問い」を追究する探求型学習の充実と発信
- あいサポート運動を通じた福祉学習（3年）の実践による共生社会の担い手の育成
- 「哲学対話」（1年）を通じた、「問い」「聴く」学習の充実

【補充補完学習による基礎学力の定着】

- TT指導の充実による一人一人へのきめ細やかな指導の充実
- 練習問題、プレテスト、定期テストのサイクルを確立し、できるだけ早くからテストを実施
- 夏季補習、春季補習を実施し、基本的内容の確実な定着を図る
- 授業と連動した家庭学習や数学ドリルによる学習時間の確保（1年：1時間、2年：1時間半：3年：2時間）

- 入学時からの進路希望調査や外部テストを通して、進路実現を目指した意識の高揚を図る
- 自主学習を通じた自分で計画する学習の習慣化（「斜面」の書き写し、自主学習ノート5ページ等）
- 月曜日に「家庭学習の日」を設定し、家庭学習提出率100%の実現
- 金曜日に「学習指導優先日」を設定し、一週間の学習の復習の実施
- ICTを活用した自学自習の放課後学習による補習の実施

信州型コミュニティスクールによる学校支援

心を開いて考え語り合う「道徳」「特別活動（学級活動）」